

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名:大阪府

1. 事業名	OSAKA女性活躍推進事業
2. 実施期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日
3. 事業の趣旨・目的	・産学官等9団体で構成する「OSAKA女性活躍推進会議」と連携のもと、女性が輝く大阪の実現に向けて、企業の経営者や若者の意識改革にかかる啓発事業を充実・強化する。オール大阪で女性の活躍推進に向けた機運醸成に努め、男女が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪をめざす。 ・女性活躍推進法の改正により令和4年から一般事業主行動計画策定が義務となった従業員101人以上300人以下の企業への行動計画策定を促すため、大阪労働局とも連携し、一般事業主行動計画の策定を要件とする「大阪府いきいきプラス事業者認証」への応募を促進する。 ・働く場などあらゆる分野における女性活躍推進を加速させるため、「大阪府男女いきいき事業者表彰」受賞事業者の先進的な取組について広く周知を図る各種啓発事業を実施する。 ・企業で役員や管理職として活躍する女性をロールモデルとして招き、キャリアアップやワーク・ライフ・バランスについて講義いただくことにより、働く女性が今後管理職や役員をめざすため、キャリアアップやモチベーションアップを図る研修を実施する。 ・SDGsゴールの実現を目標の一つとして掲げている2025年大阪・関西万博に関連した女性活躍推進イベントを行うことにより、SDGsゴールの1つであるNo.5「ジェンダー平等の実現」に寄与する。 ・コロナ禍で増大した離職問題、健康不安、生活不安、DV、性暴力被害など、困難な状況におかれている女性からの相談に対応するため、SNSを活用した相談を実施する。 ・孤独、孤立で不安を抱えたり、生活に困窮している女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、「人」・「情報」・「物」を提供するコミュニティスペースを設置。様々な困難・課題を抱える女性に対する支援を実施する。
4. 事業内容	①「OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリ フェスティバル 2025」の開催 大阪府域における女性の活躍推進に資するため、幅広い分野の団体が参画し、女性活躍推進に関連するセミナーや体験型イベントなど様々な事業を集約し、OSAKA女性活躍推進月間(9月)に、2日間にわたり開催した。大阪の女性活躍推進の拠点施設であるドーンセンターで対面事業を実施するとともに、コロナ後の生活様式の変化からニーズが高まるWEB(ライブやアーカイブ配信)を併用し、より多くの人が参加し、女性活躍推進について自分を取り組めることへの気づきを得られるプログラムとして実施した。 ②「ロールモデルに学ぶ！働く女性のキャリアアップ研修」の開催(2回) 女性の役員・管理職登用を促進するため、「大阪府男女いきいき事業者表彰」受賞事業者の社員や「活躍する女性リーダー表彰(大阪商工会議所が実施)」の受賞者がロールモデルとして出演するセミナーを実施。女性のキャリアアップと、企業の枠を超えたネットワークづくりを支援した。 ③「OSAKA女性活躍推進 ドーンdeキラリフェスティバル2025with万博」 SDGsゴールの実現を目標の一つとして掲げている2025年大阪・関西万博に関連した女性活躍推進イベントを行う。学生による提言コンテスト等を実施し、幅広い層に女性活躍推進を呼びかけ、SDGsゴールの1つであるNo.5「ジェンダー平等の実現」に寄与した。 ④女性のためのSNS相談の実施 コロナ禍で増大した離職問題、健康不安、生活不安、DV、性暴力被害などの困難な状況におかれている女性からの相談に対応するため、SNSを活用した相談を実施した。 ⑤「困難・課題を抱える女性に対するつながりサポート事業」 ドーンセンター内に、予約不要で利用できるスペースを設置し、カウンセラー等の資格をもつ専門のスタッフによる支援情報の提供や専門の相談窓口等の紹介、同じ悩みや不安を抱える方同士の交流会の開催、就職面接用のスーツ等の衣類、靴、化粧品、生理用品等の提供を実施。また、より多くの女性に支援が届けられるよう、府内市町村等と連携したアウトリーチ型の支援にも取り組んだ。
5. 事業の効果	・女性活躍推進について府民全般に意識啓発を行うことで、府民の関心を高め、女性の就業環境の改善が期待される。 ・企業の先進的な取組を紹介することにより、女性が働きやすい職場環境の整備に取り組む事業者が増加することが期待される。 ・役員や管理職として活躍する人から、部下育成やマネジメントのノウハウや、役職者として必要なスキルなどを学ぶことで、キャリアアップへの不安を解消し、役員や管理職をめざす人が増えることが期待される。 ・事業主行動計画策定・公表を要件とする「大阪府男女いきいきプラス認証」事業者を対象とした「大阪府男女いきいき事業者表彰」の受賞事業者を紹介することで、「認証」及び「表彰」への関心を高め、女性活躍推進法に基づく事業主行動計画策定する事業者が増えることが期待される。 ・府民全般を対象とした意識啓発のイベントにより、男女の固定的な性別役割分担意識について、楽しみながら学んでいただき、性別役割分担意識に気づいてもらうことで、解消につながることを期待される。 ・SNS相談を実施することで、困難な状況におかれている女性や、若年層などへのアプローチが可能となり、これまで相談につながっていなかった層からの更なる相談が増えることが期待される。 ・現在実施している電話・面接等の女性相談事業に加え、新たな相談スペースや同じ不安や悩みを抱える方同士が交流できるスペースを設け、相談者に寄り添ったきめ細かい支援を行うことにより、女性が直面している困難・課題が解決され、自立につながることを期待される。 ・貧困問題等に直面している女性に対し、民間企業等と連携し、生活物資等を提供する取組を行うことにより、様々な課題を抱える女性に対する支援についての社会的な機運醸造につながることを期待される。
5-2. 効果検証の概要	各事業の効果検証参照

6. 目標達成度及び 達成状況に対する評価	(1) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		女性の就業率	(アウトカム)	全国平均 (R6:54.4%)を 上回る	(R7年度)	53.5%	(R6)
		評価	評価の理由、事情等				
		3.未達成	R6時点において全国平均を下回っているため。目標達成に向け、さらに事業展開していく。				
		目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		「市町村推進計画」(女性活躍 推進法第6条2項)の策定市町 村数	(アウトプット)	43市町村 (R7年度末)	42市町村 (R7.4時点)		
		評価	評価の理由、事情等				
	3.未達成	R7時点において目標値を達成できていないため。目標達成に向け、さらに事業展開していく。					
	(2) 事業KPI	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
評価		評価の理由、事情等					

7. 今後の課題	・大阪府の女性の就業率は、上昇率が全国に勝り全国との差は縮まりつつあるものの、依然として低い。 ・これまでの企業への働きかけに加え、就業している若い世代や、就業前の生徒・学生をターゲットとした事業が引き続き必要。
----------	--

8. 事業の実施体制 (連携の状況)	【連携団体】 ・OSAKA女性活躍推進会議 大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、近畿経済産業局、特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、日本労働組合総連合会大阪府連合会 ・大阪府男女共同参画推進ネットワーク 27団体 ・女性活躍推進に関する庁内連絡会議 大阪府政策企画部、総務部、福祉部、商工労働部、環境農林水産部、教育庁 ・OSAKAしごとフィールド女性活躍推進支援ネットワーク会議 OSAKAしごとフィールド、大阪家内労働センター、大阪福祉人材支援センター、大阪府保育士・保育所支援センター、大阪府母子家庭等就業・自立支援センター、大阪府よろず支援拠点、大阪弁護士会、大阪労働局、雇用労働相談センター、ドーンセンター ・一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ・ドーンセンター指定管理者 ・「困難・課題を抱える女性に対する支援事業」に協賛いただける民間企業・団体等
-----------------------	--